

ONE BRAND

vol. 27

シニアドッグと
暮らす。

◆ ONE LOVE INTERVIEW

辺見えみり





シニアドッグと暮らす。

10年ほど前の犬ブーム、獣医療の発達、飼育環境の向上などで、いま、7歳以上のシニアドッグの数が増えている。*

読者のみなさんのなかにも、

シニア期にさしかかる愛犬を飼っている方はきっと多いはず。

もしかすると、はじめて犬の老いに直面することに対して

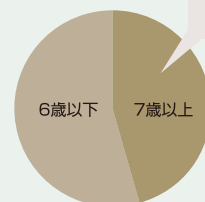
戸惑いや不安を覚えている方も少なくはないだろう。

そこで今回、シニアドッグと楽しく暮らすヒントを探るべく、

飼育経験者たちに、いろいろ話を聞いてみた!

Photo:Junpei Hareyama

7歳以上の
高齢犬
45.8%



※日本で飼育されている犬のうち、7歳以上の高齢犬は45.8%を占めている (2009年ペットフード協会調べ)



吉田悦子さん(作家)

体験者の会
体談

「犬は10歳からが いいんです」

シニアドッグと暮らす喜びとはどのようなものなのか？
飼育経験者3名がさまざまな体験エピソードを元に、ズバリ回答！

シニアドッグと暮らす。

行動面の老いは突然に!?

——最初は愛犬のどこに「古い」を感じましたか？

新山 まず見かけですね。イングリッシュセッターのレオンは涙の跡が残り消えなくなったり、ポメラニアンのは目と口の周りが白っぽくなり、歯もなくなりました。それで「ああ、老いてきたんだなあ」と。

都築 うちのビションフリーゼのタローもそう。もともと白から白髪が目立たない若づくり体質といえるんですけど(笑)、黒々とした鼻がくすみ、目の水晶体の透明性が落ちてきて、老いを意識させられるようになりました。

吉田 18歳で亡くなったジョニーも、顔が白くなって、視覚や聴覚も衰えましたね。見かけが枯れた感じになって、物腰もゆたたりになったせいか、哲学者めいた風格が漂って、「若くてやんちゃだったころもいけれど、老犬ってまた格別だなあ」と思いました(笑)。

——行動面での「古い」はどうでしょう？

新山 大型犬のレオンのほうは、歩き方がぜんぜんちがってききましたね。昔は男の僕も引ぎずられるくらいだったのが、ある日を境に電池が切れたみたいに大人しく歩くようになった……でも、だからといって散歩が楽になったわけではないんですよ。1回の散歩に使うエネルギーは減ったもの、おしっこが近くなってきたので、6時間おきに散歩しなきゃいけない



よしだえつこ●千葉県生まれ。出版社勤務の後に独立し、作家に。『老犬との幸せなつきあい方』『うちの犬がぼけた。備えあればの老犬生活』などの著書多数。静岡新聞にエッセイ『老犬バンザイ』連載中。
★愛犬:ジョニーくん(ミックス・オス・享年18)



『うちの犬(こ)がぼけた。〜備えあればの老犬生活』
吉田悦子さんが自身の体験と取材を元に書き上げた、シニアドッグとハッピーに暮らすためのノウハウ本(幻冬舎 わんこ文庫・533円+税)

なっている(苦笑)。

吉田 たしかに、老いってある日突然やって来ますよね。大好きな散歩であまり歩かなくなっても、最初は、「今日は体調が悪いのかな」としか思わなかったですから。

都築 普段から接していると気づきにくい部分があるのかも知れませんが、私も、ビションフリーゼのオフ会に連れて行ったときに2歳くらいのワンちゃんと同じように、年々鈍くなっていくのを見て取って、やっと「年で鈍くなってるんだ」って理解できたほどです。

吉田 行動面の変化があったときは、散歩のやり方などを見直さないといけないですね。これからシニア期を迎える犬の飼い主さんは、ぜひ老化のサインに早めに気づくように、日ごろの観察をお願いしたいですね。

「い塩梅」な関係がグー

——当たり前ですが、質問でも知れませんが、シニアドッグのケアって大変ですか？

新山 正直大変です。たとえばレオンは家にいるときはおむつをしているんですが、大型犬だからおしっこの量とかニオイが半端じゃない。そのケアたるや……。

都築 私は、以前飼っていた犬のときの経験でいえば、排泄とか食餌とかの細かいケアの必要性が増えることで留守番させられる時間がだんだん短くなってしまふという悩みがありましたね。つまり、自分たちの生活や仕事にもいろんな支障がでてきた。まあ、うちの場合、私がフライト勤務のときは母が面倒みてくれたので、なんとかあったという感じなんですけど。

吉田 外で仕事をしていても、ジョニーのことや頭を離れませんでした。ジョニーのおむつをこまめに交換していたので、ひとり留守番させるのは3時間がリミット。できるだけの世話をしたいと、そのときは夢中でしたね。

——そうした大変さを乗り切る原動力って、なんなんですか？



都築美穂さん (ONE LOVEリーダー・キャビンアテンダント)



新山健次さん(カメラマン)



新山 やっぱり彼らが、日々それ以上の喜びをもたらしてくれることでしょう。

吉田 そうですよ。

都築 それに愛情があれば、苦労も苦勞と思いませんよね。じつは私の父が数カ月間入院したことがあって、そのときに排泄の手伝いをしたんですが、大変だけれど苦勞だとは思いませんでした。それと同じかな、と。

——では、改めてお聞きしますが、シニアドッグとの暮らしにはどんな大きな喜びが？

吉田 さきほど私は、老犬の風貌がいいといいましたけれど、ジョニーが、10歳をすぎたところからお互いの呼吸が合ってきて、より絆が深まったというか、親密度が増したように感じます。若いときは元気がいっぱい飛び回っていたのが、だんだん日向ぼっこをしながら寄り添うような関係になってきました。そうだった一つひとつが、私には、何ものにも代えがたい宝物で、今でも思い浮かべると、心があたたかくなります。

都築 そう、いわゆる「いい塩梅」の関係になれるのがすごくうれしい。

新山 うん、サッカーじゃないけれど、アイコンタクトでコミュニケーションがとれる関係がとても感動的(笑)。なんというか、そこには、これまでのいい思い出や悪い思い出を乗り越えてきたからこそいまがあるという、深い理解がお互いのなかに芽生えているような感じがあるんですよ。

——つまり、犬は老いてからのほうがいいという？

吉田 もちろん、子犬はかわいいですよ。でも私は、犬の真の愛おしさを実感できるのは、やはり10歳を過ぎたころからだと思います。老犬との生活こそ面白い。それをまだ知らないままにいる飼い主さんは、とっても惜しいなあ(笑)。

老いても犬らしいクオリティオブライフを

——最後に、みなさんから、これからシニアドッグを飼われることになるであろう読者の方々に



つづきみほ ●埼玉県生まれ。国際線客室乗務員。一匹でも保護された犬を救いたいという思いで、『ONE LOVE ACTION! 第一期』修了。夢は趣向を凝らしたドッグランをつくること。

★愛犬: 12歳のタローくん(ビションフリーゼ・オス)



にいやまけんじ ●宮城県生まれ。芸能人写真や広告写真を多数手がける一方、『パウ・ベツスタジオ』を主催し、犬の撮影も積極的に展開中。

http://home.g08.itscom.net/bowphoto/
★愛犬: 12歳のソラくん(ボメラニアン・オス)、推定10歳のレオンくん(イングリッシュセッター・オス)

に向けて、なにかアドバイスをいただければと思います。

新山 僕は、これから老犬を飼うことになる方々には、ぜひ犬のクオリティオブライフということを考えてほしいなと思いますね。たとえばソラは年をとって心臓が悪くなってきたんですが、だからといってあまり外を散歩させないというのはちよつとちがうような気がしています。太陽の光を浴びさせ、風のニオイを嗅がせ、土を踏みしめさせて、最後まで生物としての犬らしさを満喫させてあげたいなと思っています。

吉田 老犬だからといって過保護にすると、かえって不都合が出てくる気がします。私も、歩く感覚を失わせないで、足腰の筋力を保つために、よたよたとしか歩けなくても、ジョニーを毎日のように散歩させていました。外の空気が土とのふれあいや人との出会いに刺激を受けて、喜んでいましたよ。

都築 私は、もし介護が必要となった場合でも、あまり悩まずに最期までちゃんと面倒を見てあげるようにしてほしい。飼う側が介護に慣れていくということもあるんですが、じつは、そうなったら最期はそう遠くはないという事実もあつたりするわけですから。

吉田 飼い主さんが、一人で思い悩んで、犬のお世話もできなくなってしまうようにと思いません。もし、不安があつたら、老犬と暮らしている仲間や獣医師さんに相談するなど、同じ悩みを抱える人たちに話を聞いてもらって、「うちのコだけじゃないんだ」と、もっと楽な気持ちで、お世話ができるとういですね。

新山 そう、あまり神経質にならず、大らかに構えることが大切。最初は自分より若かった犬が、だんだんと自分の年齢に近づいてきて、気がつけば追い越してしまっている……そういう犬の一生がすべて見られる醍醐味を楽しませてもらっているんだ、というくらいの気持ちで世話をやってほしいですね。

老いた保護犬がシアワセになれるとき

藤野真紀子さんは、国会議員時代に16歳の保護犬を引き取っている。その経緯、そして、すべてのシニアドッグを幸せにするための条件を聞いた。

藤野真紀子さん 料理研究家・前衆議院議員



シニアドッグと暮らす。



認知症になり、おしめが欠かせなくなったチビちゃん。藤野家の飼い犬6頭のなかでは、もちろん最年長

16歳で行き場を失ったチビちゃん

現在20歳になるチビちゃん。彼女が藤野さん宅にくるまでには一騒動あった。

それは2006年のこと。高齢者が多く住んでいる人は手放すかペットを連れて退去すべし。さもなければ生活保護を停止するなどの措置をとるという通達がなされた。当時、衆議院議員として動物愛護活動に力を注いでいた藤野さんは、この理不尽なやり方に憤りを覚え、生活保護制度を司る厚生労働省にかけ合うなどして反対運動を展開することにした。多少時間はかかるとはいえ、たしかに勝算があつての活動のスタートだった。

だが、そんななか、焦りと不安に駆られていた住人たちの多くは愛犬を保健所などにもっていくことを真剣に考えはじめた。あるおばあさんは、藤野さんといっしょに活動していたボランティアの人たちに長年連れ添ってきた雑種のメス犬を、早々に委ねてしまっていた。

その犬こそがチビちゃんだった。16歳という年齢のせいか体はボロボロ。歯槽膿漏の口からはとてつもない異臭がしていた。保護するにしても、引き取り手はそうカンタンに見つかりそうにない状態だった。

そんなとき、「じゃあ私が」と手をあげたのが藤野さん。仲間の議員からは「そんな小さな悲劇にいちいち力を注いでもキリがない。法律を



獣医師・宮田勝重先生が

快答!

シニアドッグに関する4つのギモン

大きい動物ほど寿命が長いのに、
小型犬より大型犬のほうが
早く老いるのはなぜ?

A 犬は中国オオカミが原種。そこから人間が手を加えていき、大きささまざまな犬種がつけられてきました。つまり、犬は生物学的にムリがある生き物で、どうしても寿命が短くなるざるを得ない部分があるのです。とくに大型犬の場合は、その影響が顕著にでるものと考えられます。

一般に7歳以上が
シニアとされますが、
犬の老いはどこで判断すべき?

A 老いの速度は個体によって異なります。また、老いの症状は体の部位ごとにバラバラにでます。白髪がでて筋肉が若い場合は、一概に老犬とは断定できません。愛犬を日ごろからよく観察し、その犬独自の老いを見つけたし、それに合ったケアをしていくことが大切です。

シニアドッグがガンで
亡くなるケースが増えているようです。
なにか予防策は?

A ここ10年、ガンになる犬が異常に増えているわけですが、これを予防するための決定打はありません。ただ、早期に発見して手術をすれば、回復する可能性も少なくはない。犬のガンというのは皮膚にでやすいので、毎日のグルーミングのときに腫瘍などの異常がないか、注意を払うようにしてみてください。

もしも末期ガンなどの重い病気になった場合、
飼い主はどのように対処すれば?

A 最近では愛犬を最期までしっかり看取るという飼い主が増えています。それはそれでいいことなのですが、たとえば末期ガンのようなケースでは、医師としては犬の苦痛のことも考えて安楽死を選択肢の1つとして提案することもあります。犬はなかなか痛がる表情を見せないのが、判断に迷うところですが、治療や介護の悩みを抱えている方は、ぜひ信頼できる獣医師に相談するようにしてみてください。

みやたかつしげ●1944年福岡県生まれ。東京都内で宮田動物病院の院長として活動するかたわら、数々のメディアにも登場し、わかりやすくペットの医学を解説。じつはご本人はネコ好きだが、『犬の食事百科』など、犬に関する著書多数。

自分より弱い存在を守る ココロを育てよう

ある意味、幸せな老後を送っているチビちゃん。ただ残念なことに、昨年の夏に認知症になってしまった。老衰も一気に進み、いまは目が見えず、耳も聞こえなくなっている。「おもしろいや夜の徘徊がひどくなったころは、さすがに私も何度かヒステリーを起こしそう

つくるなど、政治家はもっと大きなことに取り組むべき」と反対されたが、そもそもが目の前の小さな悲劇を放つてはおけない性格だった。大きなことへの視線を保ちつつも、一人ひとりができることを積み重ねてこそ社会がよくなるという信条を貫くことにした。

こうしてチビちゃんは藤野家にやってくるようになった。その後、さまざまな治療とケアによって見る見る元気を取り戻し、ついに20歳という長寿を誇るまでになった。



になりました(笑)。だけどそのうち、介護を重ねれば重ねるほど特別な愛情がわいてきて、気持ちがいびん落ち着いた。さらに動物愛護ボランティアをしている友人の強力な助けがもらえるようになり、安心して仕事にでかけられるようにもなった。いまは、再び平穏な毎日が送れています。……そう、だからあとは、この子が安らかな最期を迎えられるようしっかりと見守ってあげるだけですわね」

穏やかに語る藤野さんの表情からは、老いた保護犬を引き取ったことについての後悔は微塵も伺えない。やはり、藤野さん個人の資質が、それを可能にしているということになるのだろうか?

「世の中には老犬を捨てる人たちがいる。そして、その捨てられた老犬たちを引き取る人が極めて少ないという現状もある。こうした現象には、たしかに個人個人の資質の問題が大きく関わっています。ですが、それも突き詰めれば、やはり社会全体の問題。いまの日本が、いかに人のゆたかな情を失わせてしまいう状況にあるかというこのほつに目を向けるべきでしょうね」

せに暮らせる時代がやってくると信じている。「道のりは長いですが、やっていくしかないでしょう。ただし、その一方で、目の前のことにも取り組んでいく必要はありますよ。たとえば動物愛護法の改正で違反者への罰則を強化するというのもその一つ。また、流通の仕組みにメスを入れ、ペットビジネスを見直すことも。対策ではあるけれど、これによって捨て犬の殺処分は格段に減っていき、ひいては多くの老犬を悲劇から救うことができるはずですから」

藤野さんの腕に抱かれたチビちゃんにふと目をやると、じつに平和そうにあくびを一つしているのが見えた。

ふじのまきこ●1949年東京都生まれ。聖心女子大学卒業。ニューヨーク、パリでお菓子和料理づくりを学んだ後、92年に『マキコフーズ・ステュディオ』をスタート。料理研究家として脚光を浴びるかたわら、2005年から09年までは衆議院議員としても活動し、以後、動物愛護運動にも積極的に関与。
http://www.nakikofujino.com/
ONLINE L O V E 編集部 責任者としてメッセージも掲載中。http://www.oneove.co/

最期を
迎える

愛犬は最期のころが一番カワイイ

昨年7月に14歳のエフくんを介護の末に亡くした大谷香菜子さん。
最期は、笑って「ありがとう」といえたという。果たして、そのワケは？

大谷香菜子さん デザイン・エフ代表

辛さを感じなかった介護生活

エフ(エアテルテリア・オス)は13歳の
ある日、突然、自分の脚で立つことができ
なくなりました。

涙が滲むほどに動揺した私。ただ、以前
に2頭のシニアドッグを介護した経験が
あることから、「これからしっかりと介護を
しなくちゃ」という覚悟が心に芽生えてい

たのも事実。私は涙を拭いて、その日その
瞬間から介護生活をスタートさせたので
した。

正直、仕事をしながらの介護は楽では
ありませんでした。エフは自分の脚で立っ
て行動したいという願望が強く、真夜中
でも鳴いたりしました。私はそのたびに起
きて立つ手伝いをしてあげていたため、一
時は平均睡眠時間が2時間を切ったこと
もあります。

だけど、辛いと思ったこと
は一度もありません。長年
いっしょに過ごしてくれたこ
とへの感謝の気持ち、すべ
ての大変さを凌駕したから
です。それにシニアドッグとい
うのは歳を取るほど瞳が
ピュアになってくる。そんな
瞳で笑いかけられたら、どん
な苦労もふつとんでしまふものなのです。
ちなみに、介護生活のなかでの私の最
高の思い出はオリジナルの車イスをつ
くってあげられたこと。はじめてこれに
乗ったときの、自分の脚で歩けるように
なったエフの誇らしげな表情はいまも忘
れられません。

「やりきった感」が誘った涙

そんな介護生活が数カ月過ぎたころ、
エフは14歳の誕生日が目前に迫った
2009年7月14日に亡くなってしま



車イスに乗ると得意満面になったエフくん

シニアドッグと暮らす。

ました。数時間前まで車イスに乗って元氣
に動きまわっていたのに、夜、急に呼吸が
荒くなったと思ったら、気持ちよさそうに
ノビを一つして、そのまま逝ってしまったの
です。

涙がとまりませんでした。だけど、それ
は単に悲しい涙ではなく、最期までしっか
り介護できたという「やりきった感」がと
もなう満足の涙でもありました。泣きな
がら笑みを浮かべて「ありがとう」といえ
たのは、そうした実感が強かったからにほ
かありません。

エフのことを振り返り、いま私は改めて
「犬はシニアになってからが一番カワイイ」
と確信できるようになっています。うまく
はいえませんが、この時期というのは、す
べての思い出が集約され、お互いの親密さ
も最高潮に達しているため、パピーのころ
とはまったくちがうレベルの
深い情動がもたらされる感
があるのです。

これから介護をはじめら
れるみなさんには、ぜひ、この
一番カワイイ時期を迎えた愛
犬といっしょにがんばって
いただきたいと思えます。そう
すればきっと、「この子を飼っ
てよかった」と心の底から感
じられるはず。そして、もし寂しいこと
になっても、ペットロス症候群に陥ることも
なく、前向きに次の子を育てようとい
う意欲もわいてくるにちがいないので
すから。

おおたにかなこ ●1966年東京都生まれ。84年に芸
能界デビュー。その後ロンドンでの生活を経て、28歳で
ドッグファッションブランド「デザイン・エフ」を立ち上げ
る。現在はドッグケアサロンもオープンするなど、幸せで
楽しい犬との暮らしを総合的に提案中。
本紙で「生二緒」LOVEシニアドッグコラム(P18)
も連載中。
<http://www.designf.co.jp/>

愛犬との毎日を楽しむスマートフォンアプリ

ONE LOVE TOWN

無料

for Android and iPhone



ONE LOVEプロジェクトは

犬の殺処分をなくし、 人と犬との明るい未来をつくる プロジェクトです



人と犬がもっと豊かに暮らせる社会をめざしている
ONE BRANDでは、1頭でも多くの犬の命を救うために、
2008年より動物保護団体への寄付、情報発信による啓発、
保護犬の譲渡支援を行なう「ONE LOVEプロジェクト」を
実施しています。ONE LOVEプロジェクトは、
「できることから始めよう!」をモットーに、
犬を愛するみなさんに参加いただくことで、
幸せな犬たちを増やしています。



87,119

頭

保健所に收容される 犬の数

(平成 22年環境省発表)

【收容される理由】

- 捨てられた犬や迷子犬を保護
- 無責任な飼い主の飼育放棄による持ち込み
- 動物取扱業者による持ち込み

61

%

殺処分される 犬のパーセントと数

- 元の飼い主のもとに戻れなかった犬
- 動物保護団体にレスキューされなかった犬
- 新しい飼い主に譲渡されなかった犬

53,268

頭



殺処分される犬を減らすためには、
保健所に收容された犬を引き取り新しい飼い主を探している、
動物保護団体を支援していくこと。
そして、「犬を飼おう」と考えた時に
「保護犬」を選択する人を増やすために、認知を広める必要があります。

今すぐ、できることから始めませんか？

今すぐ参加できる寄付・啓発・支援



- ONE LOVEサポーター会費
- ONE LOVEグッズの売上
- 協賛企業・賛同者からの寄付金から毎月、動物保護団体に寄付しています。



ONE LOVEプロジェクト事務局



動物保護団体
12団体
(2012年12月現在)

ONE LOVE
プロジェクト
啓発活動費

ONE LOVE プロジェクトでは、一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体に、長期にわたり定期的に行える寄付支援をしています。

誰でもできる 月1,000円からのサポート

～ ONE LOVEサポーター～

保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や、犬たちが置かれた現状をより多くの方々へ啓発していく活動を支援して下さる「ONE LOVEサポーター」を募集しています。あなたもできることから始めませんか？

●サポーターには・・・

- ①『ONE BRAND』マガジンを奇数月にお届け
- ②サポーター会報誌を偶数月にお届け
- ③ONE LOVE会員カードの発行
- ④ONE LOVEメールマガジン配信



ONE LOVEサポーターへのお申し込み、お問合せ

<http://www.onelove.cc>

☎03-5575-2363

※サポーター会費は1,000円から金額を選べます。
※現会員も金額の変更ができます。



携帯はこちら

お買い物でも サポートできます！

ONE BRAND Shopping (WEB) 内の全ての商品は、売上の一部が動物保護団体への寄付になります。

1頭でも多くの犬たちを救うために、楽しいショッピングは、ぜひONE BRAND Shoppingで！



迷子札

<http://www.obshopping.jp/>

☎03-5575-2363 10:00～17:00(土日、祝日を除く)



携帯はこちら

ONE LOVEプロジェクト 寄付先団体 (50音順)

※2012年12月末
現在

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西)
<http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー
<http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま
<http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん
<http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて
<http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター)
<http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会
<http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ)
<http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ) 保健所の犬・猫を救う会
<http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会
<http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会
<http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs
<http://www.wonderful-dogs.com/>

4,653,518円

(2012年1月～11月)

これまでの寄付金総額

27,049,937円

(2008年4月22日～2012年11月末現在の累計)

寄付金の詳細については、ONE LOVEサイト内「寄付金の報告 donations report」をご覧ください。

<http://www.onelove.cc/>

ONE BRAND vol. **27**